

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
国語	論理国語	2	英語系・人文系 医療看護系	必修	3
使用教科書 副教材等	探求 論理国語（桐原書店） 近代小説四選（桐原書店）				
学習目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考查 まで	評論Ⅰ チンパンジーは「おせっかい」 をしない 論文を読む 変身に伴う快楽と恐れ ―「山月記」を通じて 評論解析 科学と市民	・ 論理展開が明解な文章を読んで、評論の基本的な読み方を習得する。 ・ 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。 ・ 元の小説を描いた小説家の思考を再構築し、作品を分析する筆者の思考を理解する。 ・ 評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。 ・ 話題を把握し注意深く論旨を追いながら、文末表現に着目することで、主要な見解をつかむ。
二学期 中間 考查 まで	評論解析 集落の創造 評論Ⅲ 木を伐る人／植える人 評論解析 「物語」としての伝統	・ 評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。 ・ 説明したい事柄の特徴を鮮明にするために、それとは対照的な事柄を取り上げ、対比構造から筆者の主張を理解する。 ・ 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、自然と人間の関係を見つめ直し、思索を深める。 ・ 基本的な事柄として、現代社会が直面する環境問題の概要を捉える。 ・ 評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。
二学期 期末 考查 まで	評論Ⅳ ロボットは心を持つか 評論解析 「資本」の出現	・ 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、進歩する技術と人間のありようについての考えを深める。 ・ 評論の基本的な読み解き方を習得し、論理構造を把握した上で筆者の考えの核心を理解する。 ・ 指示表現が指している事柄を明らかにして、適切に内容を把握する。
学年 末 考查 まで	体験と思索 カフェの開店準備 論文を読む 淋しい人間 ―「こころ」を通じて	・ 深い思索をもとに日常のありさまを綴った文章を読んで、自分自身の日々のあり方について考えを深める。 ・ 他者の生き方や感じ方を学ぶことで、感受性を深め、自分自身の新たな世界を広げる。 ・ 文章の構成や論の展開に注意しながら、評論文の内容を的確に捉えるとともに、小説を読み解く視点を広げる。 ・ 作品の背景を意識して、論じられている「淋しさ」と恋愛の関係を確かむ。
評価 方法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
国語	古典探究	2	英語系・人文系 医療看護系	必修	3
使用教科書 副教材等	高等学校 古典探究（数研出版）				
学習目標	我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めるとともに、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方の関わりの中で伝え合う力を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	説話 十訓抄 大江山 故事 画竜点睛 日記文学 更級日記 東路の道の果て 故事 説苑 江南橘為江北枳	・ 古典を読むために必要な文語のきまり、文章の構成や展開、評点の特色について理解を深める。 ・ 時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・ 古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げ深める。 ・ 作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	随筆 方丈記 ゆく河の流れ 中国の詩 絶句 律詩 物語 源氏物語 光源氏誕生 史伝 史記 鴻門之会	・ 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。 ・ 言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深める。 ・ 積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを広げ深める。 ・ 『源氏物語』の世界について理解を深め、登場人物の置かれた背景や心情を捉えさせる。 ・ 登場人物の人物像を踏まえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察する。
二 学 期 末 考 査 ま で	史伝 史記 四面楚歌 項王自刎 物語 源氏物語 小柴垣のもと	・ 登場人物への理解を深め、現代にまで生きる作品の価値について考察する。 ・ 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを広げ深める。
学 年 末 考 査 ま で	和歌・歌謡・俳諧 古今和歌集仮名序 思想 孟子 不忍人之心 日記文学 建礼門院右京大夫集 大原まうで 歴史物語 大鏡 南院の競射 思想 韓非子 侵官之害 歴史物語 大鏡 三船の才	・ 古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げ深める。 ・ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分のものの見方、感じ方、考え方を豊かにする。 ・ 関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。 ・ 『大鏡』の文学的意義を理解させ、作品の時代背景を学ぶとともに、作品の内容や歴史叙述の特色を理解させる。 ・ 古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを深める。 ・ 必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について理解する。
評 価 方 法	知識・技能…ノートへの書き込み、小テスト、ワークシート、定期考査 思考・判断・表現…授業への参加姿勢や態度、授業の発問への反応、ノートへの書き込み、ワークシート、定期考査 主体的に学習に取り組む態度…学習活動への参加姿勢や態度、ノートへの書き込み、課題の提出状況	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
地理歴史	地理探究	2	人文系	選 択	2
使用教科書 ・副教材等	新詳地理探究（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院） 新編地理資料 2025（東京法令出版）、25 サクシード地理（啓隆社）				
学習目標	グローバル化する現代において必要な基本的知識の定着を図り、身近な地域や世界の諸地域への興味関心を高める。また、地理的なものの見方・考え方を身に付ける。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境 1節 地形 2節 気候 3節 日本の自然環境 4節 地球環境問題	- 世界の地形について、大地形、小地形、そのほかの地形の分布や特徴、成因について考察するとともに、災害や土地利用など人間生活との関わりを考察する。 - 世界の気候について、地域ごとの違いとその要因について理解を深めるとともに、気候区ごとの特徴や人間生活との関係を考察する。また、地球規模での気候変動と人々への影響を考察する。 - 日本の自然の特徴と人々の生活について、地形や気候の特徴と、これによる自然災害の特徴を理解するとともに、土地開発の状況などもふまえて防災のあり方を考察する。 - 世界の環境問題について、その背景や原因、影響、対策を多面的に考察する。また、日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取組を考察する。
一学期中間 考查まで	第2章 資源と産業 1節 農林水産業 2節 食料問題	- 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて捉えるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。 - 食料問題について、世界の食料需給の地域的な偏りを大観し、発展途上国と先進国の事例を考察する。
二学期期末 考查まで	3節 エネルギー・鉱産資源 4節 資源・エネルギー問題 5節 工業	- 世界のエネルギー・鉱産資源について、それぞれの種類や分布、利用の現状や方法を考察する。 - 資源・エネルギー問題について、世界と日本の資源・エネルギー問題を大観し、問題の原因や近年の動向、問題解決の取組を考察する。また、日本が抱える資源・エネルギー問題を考察する。 - 世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題を考察する。
学年末 考查まで	6節 第3次産業 第3章 交通・通信と観光、貿易 1節 交通・通信 2節 観光 3節 貿易と経済圏	- 第3次産業について、その特徴や発展の背景、地域差等を捉えるとともに、世界と日本の観光業の特徴を考察する。 - 交通・通信について、交通機関の種類や特徴をとらえる。 - 観光業について、その特徴や利点をしり、課題を考察する。 - 現代世界の貿易と経済圏について、進展する国際分業の現状と課題、貿易の自由化と経済連携の動向を考察する。
評価 方法	【知識・技能】定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
地理歴史	日本史探究	2	英語系・人文系	選択	2
使用教科書 副教材等	日本史探究 詳説 日本史（山川出版社） 図説 最新日本史図表（第一学習社） 詳説日本史授業用整理ノート（山川出版社）日本史重要語句 Check List 2025（啓隆社）				
学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家および社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第1章 日本文化のあけぼの 歴史資料と原始・古代の展望 第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成	① 人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する ② ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。 ③ 律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。
二学期中 間考查まで	第4章 貴族政治の展開 第5章 院政と武士の躍進 歴史資料と中世の展望	① 藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ② 院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。
二学期末 考查まで	第6章 武家政権の成立	① 鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。
学年末 考查まで	第7章 武家社会の成長	① 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ② 庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。
評価方法	【知識・技能】定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
地理歴史	世界史探究	2	人文系	選 択	2
使用教科書 ・副教材等	詳説 世界史 世界史探究（山川出版社） ニューステージ世界史詳欄（浜島書店） 授業用詳説世界史整理ノート（山川出版社） 世界史 重要語句 Check List 2025（啓隆社） 要点整理 ゼミナール世界史（浜島書店）				
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを理解させ、文化の多様性を広い視野から考察させることによって、歴史への興味・関心を高め、歴史的思考力を養う。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	第1章 文明の成立と古代文明の特質 第2章 中央ユーラシアと東アジア世界	- 世界各地の古代文明の特質を把握し、人類の歴史にどのような影響を与えてきたのか、理解する。 - 東アジアの地理的特質を把握し、中国文明の起源、殷・周の成立から秦・漢帝国の動向までを理解する。
二学期中間 考查まで	第3章 南アジア世界と東南アジア世界の展開 第4章 西アジアと地中海周辺の国家形成	- 南アジアの地理的特質を把握し、インド文明の成立と発展、独自の宗教・社会制度など、南アジア世界の形成過程を理解する。 - 東南アジアの地理的特質を把握し、東南アジア世界における国家形成の過程を理解する。 - 東アジアにおける北方遊牧民族の動向と、三国時代から魏晋南北朝という中国の分裂と動乱の時代、隋唐の成立について理解する。 - 西アジア世界や地中海周辺の地理的特質を把握し、エーゲ文明、ギリシア・ヘレニズム文明、大帝国に発展したローマ文明の特徴を理解する。
二学期期末 考查まで	第5章 イスラーム世界の成立とヨーロッパ世界の形成 第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向	- イスラーム世界成立の背景とその特質、アラブ人による発展とイスラーム帝国の形成を理解する。 - 地中海世界解体後、ヨーロッパ世界が東西に分かれ、ゲルマン人移動後の西ヨーロッパでは、外部勢力との対抗の中で封建社会が形成されていったことを理解する。 - インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化など、イスラーム世界の拡大の過程を理解する。 - 内陸アジア世界におけるトルコ人の活動とイスラーム化の進展を理解する。
学年末 考查まで	第7章 ヨーロッパ世界の変容と展開 第8章 東アジア世界の展開とモンゴル帝国	- 十字軍以降の西ヨーロッパ中世世界の変容と諸国の動向を理解する。 - 契丹や女真といった遊牧諸勢力の台頭や日本を含めた東アジア諸地域の勢力交替、宋の興亡と社会や文化の特色を理解する。・モンゴル帝国の興亡と、その活動が日本を含む諸地域世界に与えた影響の大きさを理解する。
評価 方法	【知識・技能】定期考查・小テスト 【思考力・判断力・表現力】定期考查・小テスト・課題の取組・発表内容 【主体的に学習に取り組む態度】課題の取組・グループワーク・ノート整理 以上の3観点から総合的に評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
公民	公共	2	共通	必修	2
使用教科書 副教材等	高等学校 公共（第一学習社） フォーラム公共2025（とうほう）ニューコンパスノート政治・経済2025（とうほう）				
学習目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方	・ 青年期の特徴及び青年期の発達課題としてのアイデンティティの確立、現代社会を生きる課題とキャリア開発、人間関係の形成と社会参画の意義などについて理解する。 ・ 人間存在を、個人としての尊厳、社会的存在、伝統と文化と人間の三つの側面から、カント、J. S. ミル、アーレント、ハーバーマス、和辻哲郎、丸山真男の考え方を手がかりに理解する。
二学期中間 考查まで	第3章 公共的な空間における基本的原理 第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第3章 経済的な主体となる私たち 主題8 雇用と労働問題～ 主題13 経済のグローバル化	・ 民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。資本主義社会における労働者の権利と労働三法の内容、労働条件改善に向けた課題、雇用環境の変化、現代のさまざまな労働問題などについて理解するとともに課題を考察する。 労働者の権利、労働法制の理解をふまえて、雇用や労働にかかわる課題について考察する。 ・ 経済主体と経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、景気変動と物価などについて理解する。貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融システム、金融市場と金利の動きについて、実際の経済事象とも関連させながら理解、考察する。 ・ 財政の三つの働き、租税の分類と税制の原則、国債と財政問題、社会保障の意義と制度、少子高齢社会における社会保障の課題などについて理解、考察する。 ・ 国際経済の現状と課題について、貿易と国際収支、外国為替と国際通貨制度、国際経済秩序と動き、新興国の動き、南北問題の背景と推移、人口・食料問題などの観点から理解する。
二学期末 考查まで	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち 主題1 法や規範の意義と役割～ 主題5 国際社会と国家主権	・ 法の性格や役割、法の分類、法の成立の歴史や対象などによって区分されることについて考察する。司法権とその独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権、刑事司法のしくみや原則、刑事司法の課題、裁判員制度や検察審査会などについて理解する。 ・ 政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解する。
学年末 考查まで	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・ 国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、国際金融のしくみと動向、国際経済の諸課題について、実際の国際社会の事象とも関連させながら理解する。 ・ 現代社会の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。探究の結果や自らの主張について、論拠を明確にして説明したり表現したりする。
評価方法	【知識・技能】定期考查 【思考・判断・表現】定期考查 課題の取組 【主体的に学習に取り組む態度】授業態度 課題の取組	

数 学	数学Ⅱ・数学B	2	英語系・人文系 医療看護系	必 修	5
使用教科書 副教材等	高等学校 数学Ⅱ、高等学校 数学B（数研出版） 4 プロセス 数学Ⅱ+B+C（数研出版）、チャート式 数学Ⅱ+B+C（数研出版）				
学習目標	図形と方程式、三角関数、指数・対数関数、微分法と積分法、数列、確率分布と統計的な推測についての理解を深め、基礎的な知識と技能の習熟を図り、それらを的確に活用する能力を伸ばし、数学的な見方や考え方のよさを認識できるようにする。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考查まで	数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 1 点と直線 2 円 3 軌跡と領域 数学Ⅱ 第4章 三角関数 1 三角関数 2 加法定理	- 座標や式を用いて、直線の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 - 座標や式を用いて、円の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 - 図形を、与えられた条件を満たす点の集合として認識するとともに、不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 - 角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 - 加法定理を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
二学期 中間 考查まで	数学Ⅱ 第5章 指数関数と対数関数 1 指数関数 2 対数関数	- 指数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 - 対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
一学期 期末 考查まで	数学B 第1章 数列 1 等差数列と等比数列 2 いろいろな数列 3 漸化式と数学的帰納法	- 数列やその一般項の表し方について理解する。また、基本的な数列として等差数列と等比数列を理解し、それらの和を求められるようにする。また、これらの数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。 - 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。また、いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。 - 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにするとともに、複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。また、数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用できるようにする。
学年 末 考查まで	数学Ⅱ 第6章 微分法と積分法 1 微分係数と導関数 2 関数の値の変化 3 積分法 数学B 第2章 確率分布と統計的な推測 1 確率分布 2 統計的な推測	- 微分係数や導関数の意味について理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 - 導関数の理解を深めるとともに、導関数の有用性を認識できるようにする。 - 積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。 - 確率変数と確率分布について理解し、期待値や分散、標準偏差などを求めることを通じて、分布の特徴を把握できるようにする。また、連続型確率変数についても理解し、正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。 - 母集団と標本、標本平均について理解し、特に標本平均については、それが確率変数であることを正しく理解した上で考察できるようにする。また、母平均や母比率の推定、正規分布を用いた仮説検定ができるようにし、それらを日常の事象の考察や様々な判断に積極的に活用しようとする態度を育てる。
評価 方法	【知識・技能】 授業・課題・単元テスト・定期考查等で判断する。 【思考力・判断力・表現力】 授業中の解答状況や発表、課題、定期考查等で判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、授業中の発表、提出物等の状況等で判断する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
理 科	生物基礎	2 年	英語系・人文系	必 修	2
使用教科書 副教材等	高等学校 生物基礎（第一学習社）、新コンセプトノート生物基礎（浜島書店）				
学習目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察・実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	第1編 生物の特徴 第1章 生物の特徴 第2章 遺伝子とその働き 第1節 遺伝子の本体と構造	・生物に共通してみられる特徴や、生物にそのような特徴がみられる理由について観察や資料などから見い出して理解する。 ・ATPという物質が、代謝でエネルギーが出入りする際の仲立ちをしていることを理解する。 ・DNAの構造は、遺伝情報を保持し複製するのに適していることを理解する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	第2節 遺伝情報とタンパク質 第2編 ヒトのからだの調節 第3章 ヒトのからだの調節 第1節 情報の伝達と体内環境の維持	・DNAの遺伝情報にもとづいて、タンパク質が合成される過程を理解する。 ・体内環境をほぼ一定に保ち、からだの状態を安定に維持するために、内分泌系と自律神経系が働いていることを理解する。また、それらの働きの違いを理解するとともに、これらが協調して働いていることを理解する。
二 学 期 末 考 査 ま で	第2節 免疫 第3編 生物の多様性と生態系 第4章 植生と遷移 第1節 植生と遷移	・ヒトには病原体からからだを守るしくみとして、病原体の侵入を防ぐしくみや、侵入した病原体を白血球によって排除するしくみが備わっていることを理解する。さらに、自然免疫と獲得免疫のそれぞれのしくみについて理解する。 ・地球上のそれぞれの地域にはさまざまな環境の違いがあり、その環境に適応した生物が生活している。それぞれの地域で環境に応じて植生は移り変わり、分布に違いが生じることを理解する。
学 年 末 考 査 ま で	第2節 バイオーム 第5章 生態系とその保全	・生態系を構成する非生物的環境と生物はどのように関わっているのか。生物どうしはどのようなつながりをもって生活しているのか。また、人間活動が生態系にどのような影響を及ぼしているのかを理解する。
評 価 方 法	【知識・技能】 小テスト、定期考査等で評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査、実験ノート等の内容で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度及び発表、実験ノート・提出物等の内容で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
理科	地学探究	2 年	英語系・人文系	選択	1
使用教科書 副教材等	地学学習帳（愛媛県高等学校教育研究会地学部門）				
学習目標	地学基礎で学んだ地球や宇宙に関するさまざまな地学的現象が、どのように解明されてきたかを実験や実習を通して考えさせることで理解を深めさせる。また、これらを通して科学的な考え方や態度、高度な知識を身に付けさせる。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考査まで	A 地球の歴史 1 地球の歴史 2 地層からわかること	- 私たちの暮らす地球の誕生から現在に至るまでの変遷について、地球環境の変化と生物の活動を踏まえながら、一連の時間の中で捉えて理解する。 - 堆積岩とその形成や地層と地質構造について学び、それらの情報を基に、地球の過去の出来事を地層からどのように読み解くかについて理解する。
二学期中 間考査まで	3 太陽と太陽系の惑星 D 自然との共生 1 自然の恩恵 2 自然災害と防災	- 惑星のデータや黒点の移動からデータ処理能力と科学的思考力を養う。 - 恒星の1つである太陽の誕生と進化の過程と、太陽系の天体の特徴を理解する。また、宇宙の進化についても理解を深める。 - エネルギー資源や鉱物資源など、自然から受けている恩恵について理解し、その有効活用に努める意識を養う。 - 地震や火山、気象などの災害について理解し、防災・減災対策のために行動できる判断力と実行力を養う。
二学期末 考査まで	B 地球の姿 1 日本の地質 2 火成岩の観察	- 日本の地質について、その特徴を学ぶ。 - 火成岩の特徴や分類方法を、実験を通して身に付けるとともに、その特徴を理解する。
学年末 考査まで	C 大気と海洋 1 地球のエネルギー収支 2 雲と風 3 日本の天気	- 日射量から太陽放射エネルギーを測定し、グラフ作成やデータ解析能力を身に付ける。 - 大気と海洋の大循環及び、それらが気候に与える影響についてデータを基に科学的に考察する能力を養う。 - 日本の四季の特徴や天気図の読み取りについて理解を深める。
評価 方法	【知識・技能】 定期考査、小テスト等で評価する。 【思考・判断・表現】 定期考査、実習のレポート等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業態度、実習レポート、課題の取組等で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
保健体育	体 育	2	英語系・人文系 医療看護系・ 理数系（女子）	必 修	3
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	体づくり運動 球技Ⅰ 「ソフトボール」・「テニス」 水泳 「各種泳法（平泳ぎ）」 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅰ」	・中央高校体操、体ほぐしの運動などを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素などを理解できるようにする。 ・投球では、コースや高さをコントロールして投げることができる。（ソフトボール） ・相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。（テニス） ・抵抗の少ない肩幅程度の足の引き付けから、足先を外側にして直ちにキックをすることができる。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
二学期中間 考查まで	球技Ⅰ 「ソフトボール」・「テニス」 ダンス 「現代的なリズムのダンス」	・打者の特徴や走者の位置に応じた守備位置に立つことができるようにする。（ソフトボール） ・ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きをすることができるようにする。（テニス） ・選んだリズムや音楽の特徴を捉え、変化のある動きを連続して、個と群や空間の使い方を強調した構成でまとまりを付けて踊ることができるようにする。
二学期期末 考查まで	球技Ⅱ 「テニス」・「ソフトボール」 陸上競技（中・長距離走） 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅱ」	・投球では、コースや高さをコントロールして投げることができるようにする。（ソフトボール） ・相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができるようにする。（テニス） ・自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができるようにする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
学年末 考查まで	陸上競技（中・長距離走） 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅲ」 球技Ⅱ 「テニス」・「ソフトボール」	・自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができるようにする。 ・運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。 ・打者の特徴や走者の位置に応じた守備位置に立つことができる。（ソフトボール） ・ラリーの中で、相手の攻撃や味方の移動で生じる空間をカバーして、守備のバランスを維持する動きをすることができる。（テニス）
評価方法	【知識・技能】 行動観察（運動の特性やルールなどの理解）、スキルテストやペーパーテストなどで評価する。 【思考・判断・表現】 授業中の発表、行動観察、ワークシートの記述内容などで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
保健体育	体 育	2	英語系・人文系 医療看護系・ 理数系（男子）	必 修	3
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	体づくり運動 球技Ⅰ 「バドミントン」・「ハンドボール」 水泳 「各種泳法（平泳ぎ）」 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅰ」	- 中央高校体操、体ほぐしの運動などを通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素などを理解できるようにする。 - チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったり打ち返したりすることができるようにする。（バドミントン） - 空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができるようにする。（ハンドボール） - 抵抗の少ない肩幅程度の足の引き付けから、足先を外側にして直ちにキックをすることができるようにする。 - 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
二学期中間 考查まで	体づくり運動 球技Ⅰ 「バドミントン」・「ハンドボール」	- 仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりできるようにする。 - 相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。（バドミントン） - シュートをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができるようにする。（ハンドボール）
二学期期末 考查まで	球技Ⅱ 「ハンドボール」・「バドミントン」 陸上競技（中・長距離走） 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅱ」	- チームの作戦に応じた守備位置から、拾ったり打ち返したりすることができるようにする。（バドミントン） - 空いた空間に向かってボールをコントロールして運ぶことができるようにする。（ハンドボール） - 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができるようにする。 - 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。
学年末 考查まで	陸上競技（中・長距離走） 体育理論 「運動・スポーツの学び方Ⅲ」 球技Ⅱ 「ハンドボール」・「バドミントン」	- 自分で設定したペースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができるようにする。 - 運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できるようにする。 - 相手の攻撃の変化に応じて、仲間とタイミングを合わせて守備位置を移動することができる。（バドミントン） - シュートをしたり、パスを受けたりするために味方が作り出した空間に移動することができるようにする。（ハンドボール）
評価方法	【知識・技能】行動観察（運動の特性やルールなどの理解）、スキルテストやペーパーテストなどで評価する。 【思考・判断・表現】授業中の発表、行動観察、ワークシートの記述内容などで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
保健体育	保 健	2	英語系・人文系 医療看護系・ 理数系	必修	1
使用教科書 ・副教材等	現代高等保健体育（大修館書店）				
学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善してくための資質・能力を育成する。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 期 末 考 査 ま で	「生涯を通じる健康」 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康	・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解することができるようにする。
一 学 期 中 間 考 査 ま で	7 中高年期と健康 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 「健康を支える環境づくり」 1 大気汚染と健康	・生涯を通じる健康の保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりが関わっていることを理解することができるようにする。 ・労働災害の防止には、労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることを理解することができるようにする。 ・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解することができるようにする。
一 学 期 期 末 考 査 ま で	2 水質汚濁、土壌汚染と健康 3 環境と健康にかかわる対策 4 ごみの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性	・人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすことがあること、それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があることを理解することができるようにする。 ・食品の安全性を確保することは健康を保持増進する上で重要であることを理解することができるようにする。
学 年 末 考 査 ま で	6 食品衛生にかかわる活動 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加	・生涯を通じて健康を保持増進するには、保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが必要であることを理解することができるようにする。 ・我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や社会的対策などが行われていることを理解することができるようにする。 ・自他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方を生かした健康に関する環境づくりが重要であり、それに積極的に参加していくことが必要であることを理解することができるようにする。
評 価 方 法	【知識・技能】授業中の発表、行動観察（グループワーク）、ペーパーテスト（期末考査）などで評価する。 【思考・判断・表現】授業中の発表、行動観察（グループワーク）、ノートの記事内容などで評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、授業中の発表などで評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教科 芸術	科目 音楽Ⅱ	履修学年 2	コース 人文系	履修区分 選択	単位数 1
使用教科書 ・副教材等	MOUSA2（教育芸術社）				
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 考查まで	歌唱 「ヴォイス・トレーニング」 「糸」 「ハナミズキ」 器楽 「夏は来りぬ」 「ソナチネ」	・発声練習に適した曲や親しみやすい曲、歌いやすい曲を通して、発声などの技能を身に付けながら、表現を工夫して個性豊かに歌うとともに、主体的・協働的に学習に取り組む意欲を高める。 ・リコーダーの独奏やアンサンブルを通して、曲にふさわしい奏法を身に付けるとともに、音色や表現を工夫して個性豊かに演奏する。
二学期中間 考查まで	鑑賞 西洋音楽 「四季」から「冬」 「ブエノスアイレスの冬」	・さまざまな楽器が生み出す響きやその特徴が、どのような要素やそれらの働きによってもたらされているかを探るとともに、音楽のよさや美しさを深く味わう。
二学期期末 考查まで	歌唱 「詩の心を大切に歌おう」 「誰かがちいさなベルをおす」 「浜辺の歌」	・さまざまな言語による歌曲に親しみ、それぞれの特徴を理解するとともに、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、表現を工夫して個性豊かに独唱する。
学年末 考查まで	歌唱 「赤とんぼ」 創作 「旋律の雰囲気を変化させよう」	・各パートの役割を意識するとともに、全体の響きや表現上の効果に留意しながら、表現を工夫して合唱やヴォイス・アンサンブルをする喜びを味わう。 ・身近な曲の旋律をもとに、音楽を形づくっている要素の働きを変えることで、曲のもつ表情や雰囲気を変化させ、個性豊かに変奏や編曲をする。
評価 方法	【知識・技能】 発言やワークシート等の記述内容、練習中や発表中の観察 【思考・判断・表現】 発言やワークシート等の記述内容、発表時の観察 【主体的に学習に取り組む態度】 発言やワークシート等の記述内容、活動への取組	

令和7年度 学習シラバス

教科 芸術	科目 美術Ⅱ	履修学年 2	コース 人文系	履修区分 選択	単位数 1
使用教科書 ・副教材等	美術2（光村図書）				
学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わり、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期 期末 考査 まで	1 美術Ⅱを学ぶにあたって 2 絵画「絵本表現」 ・絵巻物から学ぶ ・ストーリーと場面構成 ・構想 ・配置とバランス ・着色 ・細部の表現 ・作品鑑賞	・これからの学習内容について確認する。 ・絵巻物から物語について理解し、オリジナルの物語を制作する。 ・発想や構想を練り、表現方法を工夫しながら主体的に表現する。 ・配置や全体のバランスを意識し、構成を考える。 ・作品鑑賞から作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、多様な視点から味わう。 ・自己の作品に対して、分かりやすい伝え方を身に付ける。
二学期 中間 考査 まで	3 鑑賞「文様の美しさ」 ・日本の伝統色と模様について ・色彩のパターン化 4 デザイン「使う人を想像して」 ・暮らしの中のデザイン ・アイデアスケッチ ・製図・カッティング ・研磨と接合 ・塗装 ・作品鑑賞	・日本の伝統的な美術の様式や色彩を理解し、その良さを表現の中で工夫して取り入れる。 ・暮らしの中で生かされてきた伝統的な表現について気付く。 ・生活の中のデザインについて理解を深め、使いやすさ、美しさなどの観点から表現方法を追求する。 ・木材のもつ美しさを感じ取り、木彫の技法や材料、用具の特性を理解して創造的に表現する。 ・木材加工の特質、素材感を基に豊かな考えで作品の構想を深める。 ・加工処理の方法を理解し、その技術を身に付ける。 ・様々な生活様式に応じた木材製品を知り、生活スタイルに適した美しさや使い方を味わう。
学年 末 考査 まで	5 絵画「今の私 これからの私」 ・表現の方法 ・コンセプト ・アイデアスケッチ・下描き ・着色 ・プレゼンテーション 6 1年間のまとめ	・これまでの学習を基に自然や社会と自己とのかかわり、自己の内面を深く見つめ、作品の発想や構想を練る。 ・表現方法を主体的に選択し、目的や意図に基づいて、計画や手順を考え、制作に見通しを持って表現する。 ・自己の体験などから創造的で主体的な表現のテーマを考える。 ・作品鑑賞から作者の意図と表現の工夫などを感じ取り、多様な視点から味わう。 ・自己の作品に対して、分かりやすい伝え方を身に付ける。 ・作品返却と振り返り
評価 方法	【知識・技能】作品制作や鑑賞活動等の取組、学習プリントの記述内容等で評価する。 【思考・判断・表現】作品制作や鑑賞活動等の取組、アイデアスケッチ、学習プリントや自己評価シートの記述の内容で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】作品制作や鑑賞活動等での調整力や粘り強い取組、学習プリントや自己評価シートの記述の内容で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コ ー ス	履修区分	単 位 数
芸 術	書 道 II	2	人 文 系	選 択	1
使用教科書 ・副教材等	書道II（東京書籍）				
学習目標	書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書と深く関わる能力を育成する。また、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統に基づき個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。				

授 業 計 画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期期末 末 考 査 ま で	1 書道展に出品しよう 仮名の書 (1) 流麗な古筆の美 和歌を短冊形式にまとめる 2 漢字の書 (1) 文字の元始 篆書 甲骨文字・金文・大篆・小篆 (2) 木簡の書と石碑の書(古隸・八分隸)	・仮名の書の見方・考え方を働かせ、書の伝統や日本の文字文化について理解を深め、仮名の基礎的な知識や技能を生かしながら、短冊による表現形式に応じた効果的な表現の技能を身に付ける。 ・篆書を構成する線質、字形、構成の特徴が、時代とともに変遷し形作られてきたことを理解し、その特徴の違いを表現できるようにする。 ・隸書を構成する線質、字形、構成の特徴を理解し、時代ごとの美意識を反映させながら、古典による書風の違いを捉え、表現する。
一学期中 間 考 査 ま で	古典の見方と表現（八分隸） (3) 省略の美と多様な表現美（草書） (4) 様々な作品形式（半切）	・隸書の特徴である波磔、字形等を理解し、用筆・運筆との関わりについて、歴史的位置付けや篆書との表現上の関連性を理解し、表現する。 ・草書の造形美の特性を生かし、古典の特徴と用筆・運筆の関わりについて理解し、表現する。
一学期 期 末 考 査 ま で	(5) 文字を刻す 篆刻印（一文字印制作）	・各古典の持つ書のよさや美しさを味わい、古典の書体や書風に即した用筆・運筆・字形・全体の構成を工夫し、表現するための技能を身に付ける。 ・選択した古典の特徴を生かし、表現形式に応じた表現方法を工夫し、創造的な作品の構想や表現効果を考えて表現できるようにする。 ・篆書の特徴を理解し、立体造形の特性を生かした表現効果を踏まえて、表現する。
学 年 末 考 査 ま で	3 創作してみよう 漢字仮名交じりの書 (1) 自分の思いを作品にしよう ① 文字選び・草稿 ② 全体構成・線質・作品効果 ③ 清書・落款 ④ 相互鑑賞 4 1年間のまとめ	・既習の学習を生かして、感興や意図に応じた個性的な表現を構想し、表現を工夫しながら、計画的に表現活動を行うことで、多様な書の美への理解を深める。
評 価 方 法	【知識・技能】 作品・ロイロノート画像・動画、制作等の取組、評価シート、学習プリント等の記述内容で評価する。 【思考・判断・表現】 作品、ロイロノート画像・動画、制作等の取組、評価シート、書的分析、学習プリント等の記述内容で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況や授業態度、評価シートの記述、ロイロノートの提出、課題や提出物の取組で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
外国語	英語コミュニケーションⅡ	2	人文系・医療看護系	必修	4
使用教科書 副教材等	LANDMARK English CommunicationⅡ（啓林館） LANDMARK English CommunicationⅡ サブノート（啓林館）				
学習目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、 情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養う。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan Lesson 2 A Message from Emperor Penguins Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle	- 外国人からみた日本像に関する英文を読み、自分の考えを書いたり話したりする。 - 分詞（SVOC（C=分詞）の構造を理解する。 - 温暖化による絶滅の危機に瀕するペンギンの英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりし、レポートを作成する。 - 比較級（最上級）、未来完了形を使った構文を理解する。 - 新幹線清掃チームであるテッセイに関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりし、日本文化について自分の意見を書いたり話したりする。 - 強調（倒置）、形式目的語のitの構文を理解する。
二 学 期 中 間 考 査 ま で	Lesson 4 Seeds for the Future Lesson 5 Language Change over Time	- 種子ビジネスに携わる高校生に関する英文を正しく読み取り、自分の意見をエッセイにする。 - 付帯状況with+O+α、使役動詞have/get+O+過去分詞の構造を理解する。 - 様々な要因による言語変化を扱い、グループ発表のやり方について学ぶ。 - 疑問詞+do you think..?の疑問文、同格のthatを理解する。
二 学 期 末 考 査 ま で	Lesson 6 Gaudi and His Messenger Lesson 7 Letters from a Battlefield Lesson 8 Edo: A Sustainable Society	- アントニオガウディと外尾悦郎に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりし、情報を詳細にまとめる。 - 受動態の分詞構文、ifを使わない仮定法の構造を理解する。 - 硫黄島の戦いと栗林忠道中將に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりし、調べた発表内容を理解して自分の考えを書いたり話したりする。 - 関係代名詞の日制限用法、副詞節を導く複合関係代名詞、完了不定詞の構文を理解する。 - 江戸時代の循環型社会に関する英文を正しく読み取り、自分の意見を発表する。 - 関係代名詞の非制限用法、独立分詞構文の構造を理解する。
学 年 末 考 査 ま で	Lesson 9 Biodiesel Adventure: From Global to Glocal Lesson 10 Our Future with AI	- フォトジャーナリスト山田周正の冒険旅行に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりし、自分の考えをエッセイにまとめる。 - 完了形の分詞構文、強調構文の構文を理解する。 - AIと人類の未来に関する英文を正しく聞き取ったり、読み取ったりし、楽観的か悲観的かの観点でディベートを行う。 - 過去のについての推量、as ifを使った仮定法の構文を理解する。
評 価 方 法	【知識及び技能】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステスト等で評価する。 【思考力・判断力・表現力等】 授業中の発表・ペアワーク・小テスト・定期考査・パフォーマンステスト等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況・授業態度・授業中の発表・ペアワーク、ノートやプリントの整理状況、課題の提出状況等で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
外国語	論理・表現Ⅱ	2	全	必修	2
使用教科書 副教材等	Vision Quest English Logic and Expression Ⅱ Hope Vision Quest 論理・表現Ⅱ Hope WORKBOOK				
学習目標	多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ち、意見、主張などを論理の構成や展開を工夫して、伝えることができる。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	Lesson 1 What is your future goal? Lesson 2 What school events do you have? Lesson 3 Who is the best athlete? Lesson 4 Is social media safe?	・自分の目標と達成のために必要なことについて、文と文のつながりを意識して書いて伝える。 ・留学生のために開催するイベントについて話し合った内容を英文で書いてまとめる。 ・自分の好きなアスリートと業績について、パラグラフの構成に意識して詳しく書いて伝える。 ・高校生のソーシャルメディアの使用について、パラグラフの構成に意識して、自分の意見や主張を書いて伝える。
二学期中 間考查まで	Lesson 5 How does overusing energy affect us? Lesson 6 What are some culture differences?	・環境問題の原因とその影響について情報を整理し、関心のある環境問題に対する意見や主張を話して伝える。 ・外国人観光客が最も訪れる日本の場所について、情報を調べてまとめ、出典や引用を示して、自身の主張や理由の根拠を詳しく書いて伝える。
二学期末 考查まで	Lesson 7 Do all Japanese people need to speak English? Lesson 8 Is Japan open enough? Lesson 9 What if you were rich?	・日本の第二公用語としての英語の導入の賛否に関する記事を読んで、文章全体の概要と構成を理解し、まとめる。 ・2つの異なる働き方についての話を聞いて、全体の概要と構成を理解し、まとめる。また、自分が働きたい職場環境について、ペアやグループで議論する。 ・宝くじが当たり、大金を手にしたらという仮定の状況を想定し、自分の考えや主張をまとめたり、クラスメートと話して伝え合ったりして、スピーチの原稿を作成する。
学年末 考查まで	Lesson 10 How might AI affect our lives? Lesson 11 What is a healthy life? Lesson 12 What is important when we sell chocolate?	・AIとの生活で大切な事について、自分の考えやその根拠を示す情報を調べるなどして、クラスに話して伝えるために、プレゼンテーションの原稿を作成する。 ・「10代の若者は8～9時間の睡眠が必要だ」という議題について、賛否の意見を考え、詳しく書いてまとめる。 ・チョコレートの売り上げを伸ばすために重要なことについて、自分の意見や主張を考え、根拠となる資料を示しながら、グループで話して伝え合う。
評価 方法	【知識・技能】小テスト、定期考查等で評価する。 【思考・判断・表現】発表、小テスト、定期考查、提出課題で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】出欠状況、授業態度、発表（スピーチ、プレゼンテーション）、提出課題、ノートの整理で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
情報	情報 I	2	英語系 人文系 医療看護系 理数系	必修	2
使用教科書 副教材等	最新情報 I (実教出版) 最新情報 I 学習ノート(実教出版)				
学習目標	情報技術を適切に活用し、問題の発見・解決を行う。また、学習活動を通して情報技術を効果的に活用し、情報社会に主体的に参画する。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期末 考查まで	1章 情報社会と私たち 1 情報社会	・ 情報社会の現状について理解する。 ・ 知的財産権について理解する。 ・ 個人情報とプライバシーについて理解し、それらを保護する方法を身に付ける。 ・ さまざまな情報技術について理解し、課題解決の方法について考える。 ・ メディアには種類があることを理解し、メディアの発達について知る。 ・ インターネットを活用したコミュニケーションの特徴について理解する。 ・ 情報を正確に、わかりやすく伝える方法について理解する。 ・ 報告書やレポート、論文を作成するための手順について理解する。 ・ プレゼンテーションの手順とスライド作成について理解する。
	2 情報社会の法規と権利	
	3 情報社会が築く新しい社会	
	2章 メディアとデザイン 1 メディアとコミュニケーション	
	2 情報デザイン	
	3 情報デザインの実践	
二学期末 考查まで	5章 問題解決とその方法 2 データの活用	・ データを収集したり整理したりする方法について理解する。 ・ 表計算ソフトの活用方法について理解する。 ・ 2進数と情報量の関係について理解する。 ・ コンピュータの演算の仕組みを理解する。 ・ 静止画や動画をデジタルで表現する方法について理解する。 ・ 情報通信ネットワークの構成について理解する。 ・ 解決案を検討したり整理・分析したりする方法について理解する。 ・ モデル化する手順と方法を理解し、さまざまなモデルを作成する。 ・ 問題解決のためにシミュレーションを活用する。
	3章 システムとデジタル化 1 情報システムの構成 2 情報のデジタル化	
	4章 ネットワークとセキュリティ 1 情報通信ネットワーク	
	5章 問題解決とその方法 1 問題解決 3 モデル化 4 シミュレーション	
	4章 ネットワークとセキュリティ 2 情報セキュリティ	
	6章 アルゴリズムとプログラミング 1 プログラミングの方法 2 プログラミングの実践	
学年末 考查まで		・ 情報を安全に取り扱うための技術について理解する。 ・ アルゴリズムを用いてプログラムを表現する方法を理解する。 ・ 変数を使用したプログラムを作成する。 ・ 多くのデータから目的のデータを探し出すプログラムを作成する。
評価方法	【知識・技能】：定期考查、実習における処理の速さや正確性等で評価する。 【思考・判断・表現】：定期考查、実習における取組等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】：授業態度、学習ノートの整理状況等で評価する。	

令和7年度 学習シラバス

教 科	科 目	履修学年	コース	履修区分	単 位 数
家庭	生活探究	2	人文系	選択	1
使用教科書 副教材等	生活探究（本校家庭科） 家庭科ノート（愛媛県高等学校家庭科教育研究会） 調理実習ノート基礎編（愛媛県高等学校家庭科教育研究会）				
学習目標	1年次での基礎的・基本的な知識と技術の習得の上に、実践的・体験的に学習し、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。				

授業計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一 学 期 末 考 査 ま で	エコバッグの製作 1. 材料と裁縫の基礎 2. ミシン縫いの基礎 3. デザインと型紙 4. しるし付け、裁断 5. ひも作り 6. わき縫い 7. ひも付け 8. 底縫い・仕上げ 家庭の経済	・被服材料の種類と性能を知り、適切な材料を準備する。 ・ミシン縫いの基礎的な技術を身に付け、作品を製作する。 ・作品の構成に関心を持つ。 ・製作に必要な基礎的な技術を身に付け、製作を楽しむ。 ・作品を完成させる。 ・現代の経済生活について、実際の金融商品などを用いてシミュレーションし、家計管理と経済的自立について考察する。
二 学 期 末 考 査 ま で	共生 1. 住生活と防災・減災 2. 車いすの介助 3. ベッドメイキングと介助 4. 子どもの生活と伝承遊び ＜調理実習＞	・生活に役立つ知識・技能を、体験を通して身に付け、社会の一員として主体的に生活に関わろうとする姿勢を身に付ける。 ・日常食の調理を行い、基礎的な調理技術の向上を図る。
学 年 末 考 査 ま で	家庭の経済 1. キャッシュレス決済 2. ローン 3. 公的保険と民間保険 4. 貯蓄 5. 投資 衣服の補修技術 1. 並縫い 2. まつり縫い 3. ボタン付け	・現代の経済生活について、実際の金融商品などを用いてシミュレーションし、家計管理と経済的自立について考察する。 ・衣服の補修に必要な基礎的な手縫いの技術を身に付ける。
評 価 方 法	【知識・技能】 定期考査、実習・作品等で評価する。 【思考・判断・表現】 ワークシートの記述、作品、定期考査等で評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ワークシート、実習・作品への取組、進捗状況及びその調整等で評価する。	